

油原のぶよし活動レポート

活動レポート発効日
2012年4月1日

(討議資料)

油原のぶよし氏と未来を語る「市政みんなの会」 代表 飯田克行
〒301-0832 龍ヶ崎市緑町 276 番地 TEL, Fax 62-5964 (油原方)

油原のぶよしが行った、
市議会定例会の一般質問
の骨子をお伝えします。

H23 6月定例会

- 東日本大震災における市の対応について
- ・住宅再建へ利子の補給を
- ・風評被害へ早急な対応を
- ・当市への避難者に支援を

H23 9月定例会

- 地元産業の育成と活性化について
- 広域組合分賦金の妥当性と公平性について
- ごみの有料化について
- ・なぜ今、有料化なのか！
- ・収入の使途については？

💡 ところで、「一般質問」って、なんなの？

一般質問とは個々の議員が行政全般について、市に対して事務の執行状況や将来の方針について聴くことです。当市の場合、持ち時間は市側の答弁も含めて、一人90分です。

H23 12月定例会

- 高齢者就労支援について
- コミュニティバスの運行について
- ・利便性向上の改善策を！

H24 3月定例会

- 小中学校統廃合について
- 小中一貫教育について
- 児童・生徒の相談支援体制について

💡 ところで、「定例会」って1年に何回やるの？

市議会の定例会は年4回(普通は3月、6月、9月、12月)開催され、その他必要に応じて開かれる「臨時議会」もあります。3月は予算、9月は決算も審議する定例会で、一ヶ月近く開かれま

議会報告 今市政は、

東日本大震災、被災者 への市の対応を問う！

『被災市民に もっと救済を！』

油原 原発事故による風評被害がすでに当市にも影響を及ぼしているが、市がリーダーシップを発揮して、農産物の安全性のPRや、地産池消・地産外消の対応策を伺いたい。

市民生活部長 生産者及びJA竜ヶ崎の販売イベントやキャンペーン活動を、今後市は積極的に支援していきます。

油原 県外被災地から当市へ避難している方々に対して、国と連携した雇用促進住宅の提供、生活費の助成、就労の斡旋等を考えていただきたい。

入居希望があった場合は、速やかに入居できるよう支援に努めます。

市民生活部長 就労支援については、ハローワーク、つくばの里工業団地運営協議会と連携し、就労支援に努めます。

『地元産業の育成を！』

油原 八原保育所の改築工事では、市内の建築・設備、実施設計を担当した設計業者も排除された。私は、地場(地元会社)の活用は地元での雇用や資材の確保等による地域経済の活性化につながると思うが、地場排除の理由を伺いたい。

市長 建設工事においては、競争力または技術力の向上を促すようなことも地場育成だと

考えておりますので、地場の企業が発展するような育成策をとります。

総務部長 安全面の配慮や短期間での完成を図ることを勘案して、総合的に施工能力の優れた施工者を求めました。工事管理業者については、前例にとらわれず指名業者の選定を行いました。

『コミュニティバスの 利便性向上！』

油原 統合福祉センターの専用バスの運行、各ルート of 地域完結型運行、運行頻度を上げ利便性を高める。交通空白地域やバスを乗り継いで行けない場所には、タクシーを活用した「ドア・ツー・ドア」

減り続ける児童・生徒、市内小中学校の統合を問う！

の導入でカバーする必要がある。高齢化社会を踏まえると、移動制約者の足の確保、人の動ける環境を作ることが必要。人が動くということは、街の活性化の原点である。

都市環境部長 提案いただいた改善策は、効果的なものと認識します。今後、コミュニティバスの検討を重ね、より良い交通システムを検討します。

『高齢者に就労支援を！』

油原 龍ヶ崎市のシルバー人材センターは、他市に比べて就労機会が少なく、全国的に見ると収入も少ない。厚生労働省の調査によると、高齢者世帯は年金や財産所得の他、家計の約20%(年間約60万円)を稼働所得に頼らざるを得ないのが現状ですが、当市の収入は年間32万円、月2万6千円です。こういう現実的な数字を踏まえて、市の支援策について考えを聞きたい。

健康福祉部長 市職員の派遣による人的支援や補助金交付による財政的支援に加え、今後同センターへの市が行う業務の発注を含め、支援に努めてまいります。

『学校の適正規模と、 適正配置を！』

油原 子ども達は、集団の中で切磋琢磨し、多様なものの見方や考え方が育っていく。子ども達にとって望ましい教育環境の整備の観点から、教育委員会としてリーダーシップを発揮し、適正規模適正配置を推進すべきと考えるが、どのように実現するのか。

教育部長 保護者や地元の方々と定期的に意見交換会を行い、課題の解決へ向け合意形成を図っていきます。

教育長 適正規模適正配置審議会の答申に従って対応してまいります。児童生徒数の変化に注意を払い対応してまいります。

